

入札金額内訳書の作成について

紙による入札金額内訳書を持参又は郵送する場合には、下記により入札金額内訳書を作成すること。

(1) 入札書の作成

ア 入札金額内訳書は、日本語で記載すること。また、入札金額内訳書に記載する金額は日本国通貨とすること。

イ 入札金額内訳書は、様式2によること。

(2) 入札金額内訳書の記載項目

ア 年月日

開札年月日とする。

イ 入札者住所商号代表者及び押印

記載するに当たって、次の点に注意すること。

代表者でない者が、当該入札において代理人（代理人から委任を受けている復代理人を含む。）

として入札する場合は、入札書の入札者住所氏名欄の記載は、次の例のとおりとなる。

例) ○○市○○町○番○号

○○○○株式会社

代表取締役 ○○ ○○

上記代理人（復代理人） ○○ ○○ 印

ウ 入札金額内訳書の記載金額（金額の訂正は認めない）

エ 人件費

オ 物件費

カ 諸経費

キ 摘要

} 別紙2「入札金額内訳書記載例」を参照のこと

開札年月日を記入のこと。

令和 年 月 日作成

地方独立行政法人広島市立病院機構 理事長 様

所在地
 商号又は名称
 代表者職氏名 印
 回答できる者の氏名
 連絡先電話番号 () (内線)

入札金額内訳書 (保守点検業務)

| 件名 | 広島市立北部医療センター安佐市民病院 (仮称) ロボット手術支援システムの購入及び保守点検業務 (かし担保期間を除く 5 年間の保守点検業務) | | | |
|---------------------------|---|--|-----------|---------|
| 区分 | 積算の内訳 (下記※参照) | 金額 | 摘要 | |
| 業務価格 | 人件費 (直接人件費) (ア) | 作業員A 〇〇〇円 (月単価/人日) × 〇〇人日 × 〇年 = 〇〇〇〇〇〇円 作業員B 〇〇〇円 (月単価/人日) × 〇〇人日 × 〇年 = 〇〇〇〇〇〇円 | 〇〇〇〇 | |
| | 物件費 (直接物件費 + 業務管理費) (イ) | 定期交換部品 〇〇〇〇〇円 定期交換消耗品 〇〇〇〇〇円 リモート及びオンコールサービス 〇〇〇〇〇円 } 各〇年間分 | 〇〇〇〇 | |
| | 諸経費 (一般管理費等) (ウ) | (人件費 (ア) + 物件費 (イ)) × 〇% | 〇〇〇〇〇 | |
| | 計 (エ = ア + イ + ウ) | | 〇〇〇〇〇〇 | 入札書記載金額 |
| 消費税等相当額 (オ) (オ = エ × 10%) | 業務価格 × 10% | 〇〇〇 | 消費税等率 10% | |
| 業務費 (カ) (カ = エ + オ) | | 〇〇〇〇〇〇 | | |

- ※1 入札金額内訳書に記名・押印がないものは、その入札を無効とする。
- ※2 件名がないものは、その入札を無効とする。
- ※3 件名が誤っているものは、その入札を無効とする。(ただし、件名の一部に誤りがあるが、当該件名の入札金額内訳書であることが特定できる場合を除く。)
- ※4 業務価格の合計金額が入札書記載金額と異なるものは、その入札を無効とする。(ただし、入札金額内訳書等の業務価格の合計金額の千円未満の端数を切り捨てた額を入札書記載金額としている場合は無効としない。したがって、金額の相違が千円未満であっても端数切捨てでない場合、切捨て以外の端数整理、税込みと税抜きの誤記等は、無効となる。)